

2 上小地域

<地域の環境特性>

- ・ 千曲川の中流部に位置し、地域の中央部を千曲川が東西に流れています。
- ・ 気候は、昼と夜の気温較差が大きい典型的な内陸性気候で、晴天の日が多く、全国的にも降水量が少ない地域であり、ため池が多数あります。
- ・ 根子岳、四阿山山麓に広がる菅平高原、湯ノ丸山、烏帽子岳、籠ノ登山山麓に広がる湯の丸高原は、上信越高原国立公園に属し、夏の冷涼な気候と冬の良質な雪に恵まれ、スポーツのメッカとして、また、高原野菜の産地、高山植物の宝庫として知られています。
松本地域との境に位置する標高2,000mに達する美ヶ原高原は、八ヶ岳中信高原国定公園に指定されており、雄大な眺望と四季折々の自然を楽しむことができます。
- ・ 里山には、アカマツ、カラマツなどの針葉樹とコナラなどの広葉樹が混ざり合い、木材生産や山菜、きのこ採取の場として古くから地域の人々と深い関わりのある場所となっています。
- ・ 「信州の鎌倉」と呼ばれる塩田平周辺には、鎌倉時代に造られた国宝や重要文化財の仏閣など歴史的文化遺産が豊かな自然の中に点在し、周辺の田園風景と調和を保っています。
- ・ 保養と健康づくりの場として温泉も多く存在し、人々のやすらぎの場となっています。

<施策の展開>

(1) 多彩な自然環境を生かした魅力ある地域づくり

- ・ 上信越高原国立公園や、地域内で9箇所指定されている郷土環境保全地域など、特色のある優れた自然環境の保全を推進します。
- ・ 高原のさわやかな自然環境、上田城跡、海野宿などの歴史的文化遺産、ため池・棚田などの農村景観といった多彩な地域資源を生かし、美しい景観の創出を推進します。
- ・ 稲刈り等の農村生活を体験できるメニューを提供するなど、都市との交流を通じて農村の活性化を図ります。



美ヶ原高原自然再生事業（ボランティアとの連携によるササ刈り）

（２）環境への負荷の少ない住み良い地域づくり

- ・ 松くい虫対策など健全な森林づくりを進め、地域材の安定供給や利用促進を図るとともに、二酸化炭素の吸収や水源かん養など森林の有する公益的機能の維持・増進を図ります。
- ・ 化学肥料や農薬の使用量を低減した「環境にやさしい農業」を推進するほか、環境と調和した農村づくりを進めます。
- ・ 下水道整備などの生活排水対策の推進などにより、千曲川等の河川の水質浄化を図ります。
- ・ 市町村や住民と連携して廃棄物の適正処理、ごみの減量化・再資源化などを進めることにより、循環型社会の形成を図ります。

（３）地域の生態系の維持・保全

- ・ 地元の住民等と連携して、オオルリシジミなど希少野生動植物の保護回復や美ヶ原高原における植生の回復に取り組むとともに、外来動植物対策を進めるなど、健全な生態系の保全に努めます。
- ・ 水辺観察会などを通して水辺環境保全や環境学習に取り組みます。
- ・ 景観に配慮した水辺空間の整備や、ボランティア活動の推進によるアレチウリ等の外来生物の除去等を進め、住民が水に親しむ環境整備を図ります。



アレチウリ駆除研修会